

授業名(時間割表記)	コミュニケーションスキルアップⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼二1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/21	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4/28	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5/12	講義・演習	グループワーク: WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
4	5/19	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
5	5/26	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6/2	講義・演習	グループワーク:言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6/16	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6/23	講義・演習	グループワーク:もし～がなくなったら(プレスト)	教科書61ページを読む
9	6/30	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島(またはわたしのイメージ)	教科書3章を読む
10	7/7	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7/14	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
12	7/21	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	8/25	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅰ	教科書3章を読む
14	9/1	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅱ	教科書3章を読む
15	9/8	試験	CSU模擬試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デッサンⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山崎隆
学科・コース	eエンターテインメント 科昼二1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	1981武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 1982～2003 同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習 内容	描くことへの先入観や苦手意識を取り省きながら、簡単な形態から徐々に難しいものの描写へと進める						
到達目標	①遠近法をしっかりと理解する ②立体的にモチーフを観察できる ③存在感のあるしっかりとした描写が出来る						
評価方法と基準	①各授業ごとの理解度 ②前期2回程度のコンクール形式の作品の点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	実習	基本的道具の使用方法 ケント 紙による立方体の作成	課題を提出できるようにする
2	5月8日	実習	立方体の描写	課題を提出できるようにする
3	5月15日	実習	黒長靴の描写	課題を提出できるようにする
4	5月22日	実習	遠近法・1	課題を提出できるようにする
5	6月5日	実習	遠近法・2	課題を提出できるようにする
6	6月19日	実習	遠近法・3	課題を提出できるようにする
7	6月26日	実習	量感のあるモチーフ・1	課題を提出できるようにする
8	7月3日	実習	量感のあるモチーフ・2	課題を提出できるようにする
9	7月10日	実習	コンクール	課題を提出できるようにする
10	7月17日	実習	クロッキー	課題を提出できるようにする
11	7月24日	実習	友人像	課題を提出できるようにする
12	8月28日	実習	自画像	課題を提出できるようにする
13	9月4日	実習	自由課題	課題を提出できるようにする
14	9月11日	実習	コンクール	課題を提出できるようにする
15	9月18日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【 使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山崎隆
学科・コース	eエンターテインメント 科昼二2年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	1981 武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 1982～2003同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習 内容	①人体や自然をより深く観察したい ②画面構成、構図を含めた表現力をつける ③屋外での実習を含め、より大きなモチーフに挑戦する						
到達目標	1 学年で学んだ基礎の上に形式にとらわれず自由に表現する力を身につける						
評価方法と基準	各授業の理解度また前期を通じての総合的な理解度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	実習	自分の手をモチーフとする	課題を提出できるようにする
2	5月8日	実習	観葉植物	課題を提出できるようにする
3	5月15日	実習	観葉植物	課題を提出できるようにする
4	5月22日	実習	観葉植物	課題を提出できるようにする
5	6月5日	実習	観葉植物	課題を提出できるようにする
6	6月19日	実習	風景デッサン	課題を提出できるようにする
7	6月26日	実習	風景デッサン	課題を提出できるようにする
8	7月3日	実習	風景デッサン	課題を提出できるようにする
9	7月10日	実習	石膏デッサン	課題を提出できるようにする
10	7月17日	実習	石膏デッサン	課題を提出できるようにする
11	7月24日	実習	石膏デッサン	課題を提出できるようにする
12	8月28日	実習	石膏デッサン	課題を提出できるようにする
13	9月4日	実習	クロッキー	課題を提出できるようにする
14	9月11日	実習	人体デッサン	課題を提出できるようにする
15	9月18日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【 使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割表記)	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	野畑
学科・コース	eエンターテインメント科屋二3年A	授業形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	美術作家・美術講師						
授業の学習 内容	CG及びその他クリエイションのための基礎として観察に基づく素描を行います。 クロッキー、光、構図、質感、パースなど基本的な項目を複合的にマスターしてゆくための実践 とレクチャー、自身の成果・他者の良いところを共有し合う目的の講評を行います。 TCAでの講師経験から、各人の趣向、経験値の違いを大幅に考慮した複数メニューのモチーフ選択 を基本とし、それぞれのレベルに応じた成長をサポートしてゆきます。						
到達目標	良質なポートフォリオ素材候補を複数出してゆく。 またそのレベルを随時更新してゆく。						
評価方法と基準	「状況と質感の伝達」を標準的な達成レベル指標とし、各人のモチベーションと継続、 苦手な部分の克服、成長幅などに基づいて評価を行います。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	ガイダンス	授業概要・自己紹介・友人クロッキー	次回提出できるようにする
2	4/27	制作・講評	静物デッサン・B3画用紙 鉛筆	
3	5/11			次回提出できるようにする
4	5/18	制作・講評	石膏デッサン・木炭紙大 鉛筆or木炭	
5	5/25			次回提出できるようにする
6	6/1	制作・講評	人物モデル・クロッキー・デッサン	
7	6/8			次回提出できるようにする
8	6/22	制作	屋外スケッチ(雨天延期)	次回提出できるようにする
9	6/29	制作・講評	・友人クロッキー ・静物卓及び石膏デッサン選択 ・講評	
10	7/6			
11	7/13			次回提出できるようにする
12	7/27	制作・講評	・友人クロッキー ・静物卓及び石膏デッサン選択 ・講評	
13	8/24			
14	8/31			次回提出できるようにする
15	9/7	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】				